

通番	日付	場所	当日のご意見及びご質問(要約)	本市の回答(要約)
36	11/19(金)	山直 市民センター	校区内の民間園に通うのか、校区外の遠い市立に通うのか、の選択を迫られる地域が幾つかある。困る保護者が居るのではないかと。また民間園は問題がある。	再編ごとに検証し、市立施設が足りないとすれば、柔軟に検討したいと考えています。民間園(29園)では、児童全体の60%以上を受け入れており、十分実績もあります。市立・民間に関わらず、全ての認定こども園では国が定める「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に則って運営されていますので、民間園だからといって教育・保育の質が担保されないということは全くありません。万が一、民間園でトラブルが発生した時には、大阪府と逐一連絡を取り、指導・監督を適切に行ってまいります。
37	11/19(金)	山直 市民センター	公共施設を減らす施策もあるようだが、教育・子育ての施策を具体的に教えてほしい。	まずは待機児童・未入所児童の解消が大切だと考えています。そのために具体的に取り組んだ対策が、この再編計画となっています。また教育の充実も必要であると考えています。授業改善やコグニティブトレーニングの取組み、家庭との連携を通じて、岸和田市で教育・子育てを安心して任せられる状態になるよう取り組んでまいります。
38	11/19(金)	山直 市民センター	再編でできるこども園は、地域の子育て支援機能を有するとの説明であるが、人員が足りないのではないかと。アレルギー食対応、障害児の受入対応についても教えて欲しい。また効果検証を行うということだが、具体的に保護者・地域の意見をどう聞くのか。以前民営化されたが、民営化の検証(経済効果等)はしていないとの答弁があり方検討委員会の中であった。今回どのように検証していくのか。また、預かり時間の違う子ども(1号認定)についてどうお考えか。	正職員・会計年度職員も不足している状態で、人員確保の努力をしているところです。子育て支援は、認定こども園に移行する中で、大きな役割と考えています。現在は「子育て支援センターさくらだい」が中心となって連携は続けていますが、本来であれば、各保育所に配置された子育て支援担当の保育士が、連携を取り、地域での子育て施策に対応するのですが、現在は子育て支援担当保育士が未配置の園では、所長代理等が対応している状況です。地域の民生児童委員・保健センター・保健所との連携を大切に、保育所が全てを担うのではなく、それぞれの役割を分担しながら、地域での子育て支援を進めていきたいと考えています。アレルギー食につきましては、市として協力したいと考えています。また支援が必要な児童については資料のとおりですが、次年度の数については、現在集計中です。現在民間園に通園している支援に必要な児童数の把握のために、市立・民間保育士と子育て施設課職員で、各施設に赴いて保育観察を行っています。障害児保育は、人員が確保できればできるというものではありませんので、市立での障害児保育のノウハウを民間園と共有できるように取り組んでいきます。保護者ニーズにつきましては、第三者評価を実施し、指摘された事柄があれば、速やかに改善するよう指導してまいります。また市立園については、保護者アンケート等で課題を把握し、中身を精査していきたいと考えています。
39	11/19(金)	山直 市民センター	中期計画の市民説明会はあるのか。市立認定こども園が、山滝中学校地に開園の計画になっている。小中一貫校が幼保より早く進められる計画になっているので、山滝中学校地はますます手狭になる。どうお考えか。	市民全体の説明会ではなく、中期計画以降は具体的な地域・保護者の方を中心に説明をさせていただく予定をしています。現在の計画案では、山滝中学校地に市立認定こども園を開園とお示していますが、小・中学校の再編の取組みについて、地元の方々との協議の中で、幼保についても色々な意見が出てくると思っております。今後見直しが必要であれば、見直しを行う考えです。
40	11/19(金)	山直 市民センター	幼稚園はなぜ給食にしないのか。全ての園で3歳児保育をしない理由は、18時までの預かり保育もあるから、幼稚園の小規模化を止める方法になるのでは。やるべき事をすべき。	幼稚園での給食は、施設面・衛生面等の観点から、小学校併設の天神山幼稚園でしかできていません。市立幼稚園の3歳児保育は、広げる予定でありましたが、必要量が充足しましたので、ストップしています。18時までのアフタースクールにつきましては、保護者の方に周知しています。